

議会だより

vol.33
2013. 8. 1



神楽を演じる南方保育所の園児

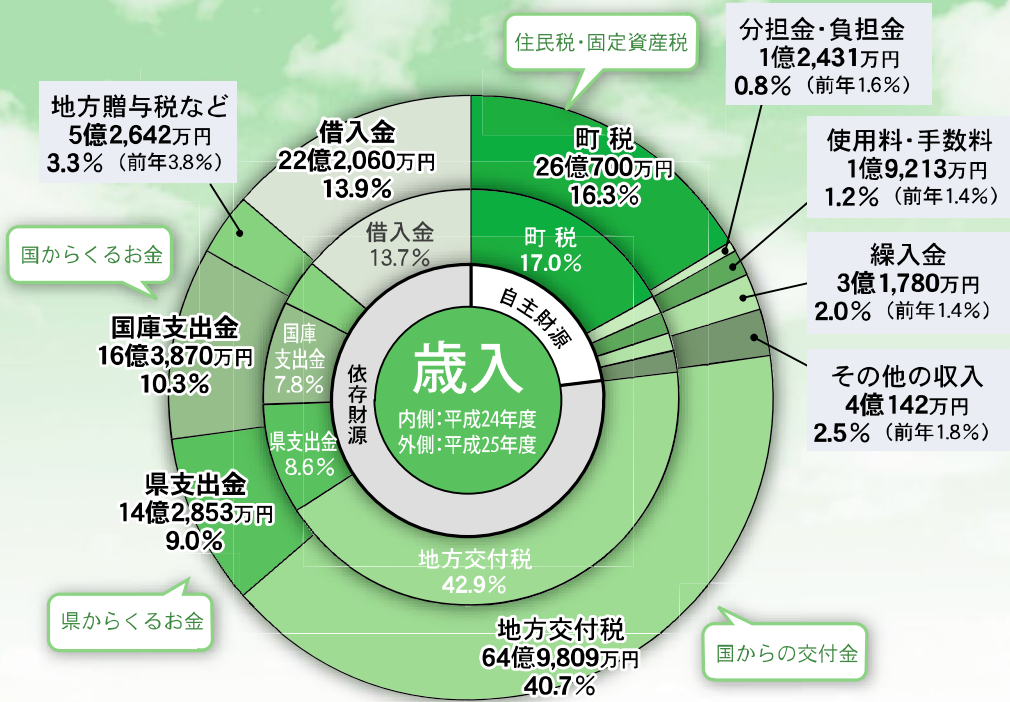
第2回定例議会 〈6月10日～6月26日〉

平成25年度一般会計本格予算	P2～P3
新年度の主な事業	P4
提出議案の審査結果	P6
一般質問 15議員が町政を問う	P7～P21
委員会報告	P22～P23
がんばってます！（南方保育所・吉坂保育所）	P25

159億5,500万円

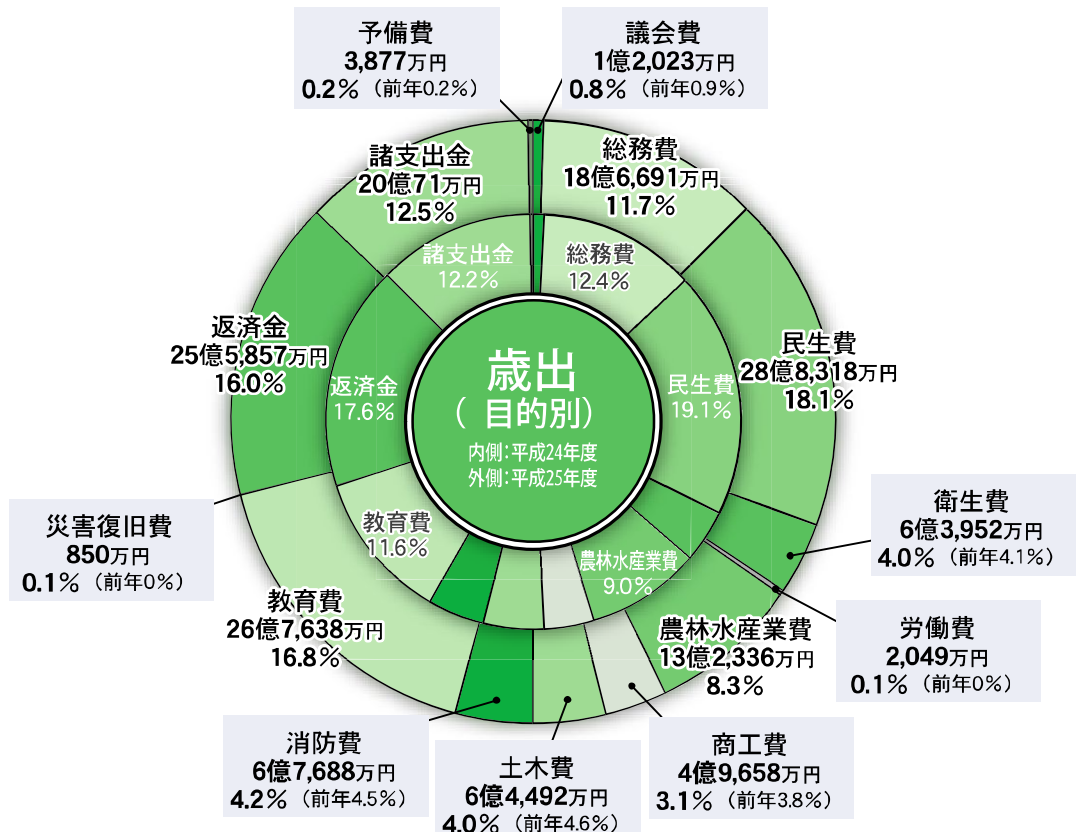
骨格予算に緊急経済対策等を加えて本格予算決まる

3月に町長選挙、議会議員選挙が実施され、初めての定例会が6月10日から6月26日まで開催された。新町長から施政方針が示されたのち、一般会計8億8,500万円の肉付予算を原案とおり可決し、総額159億5,500万円の肉付本格予算で新体制がスタートした。一般質問では15人の議員が町長の施政方針を中心に行政課題をただした。



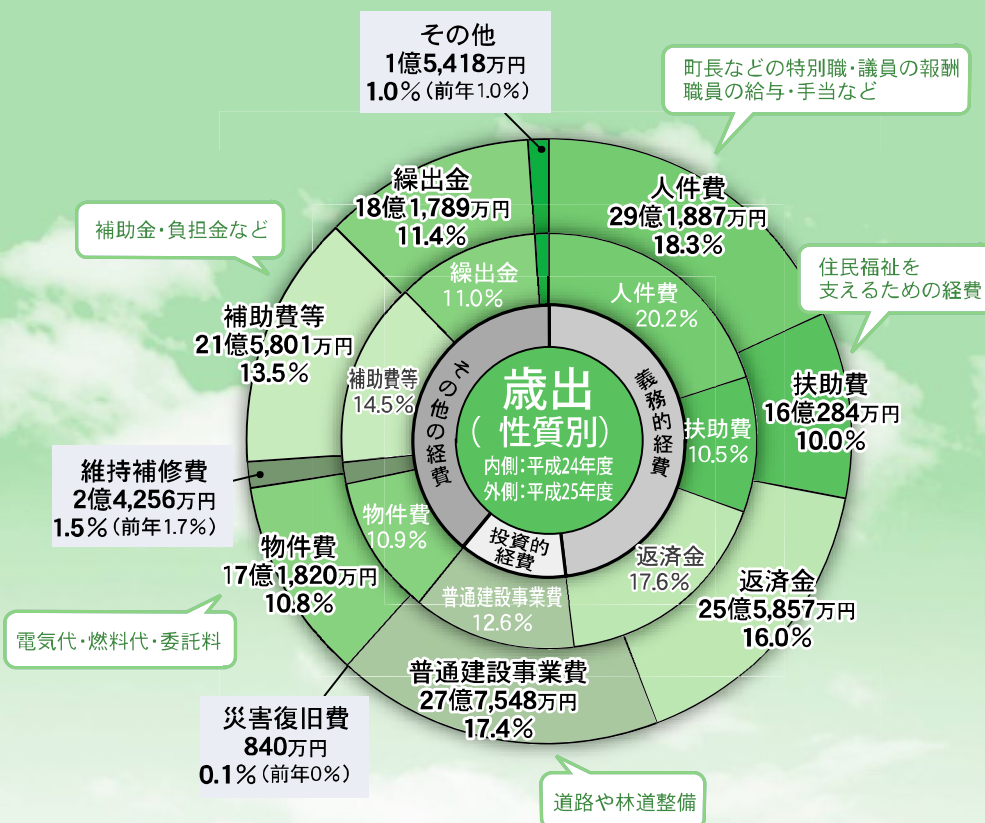
歳出(目的別)

一般会計予算の歳出を目的別に分類し24年度当初予算と比較すると右のグラフのとおりである。増要因の主なものは、新規定住対策、雇用対策、道路・河川の改良、温水プール整備などである。



歳出(性質別)

一般会計予算の歳出を性質別に分類し24年度当初予算と比較すると次のグラフのとおりである。義務的経費は、人件費及び返済金が減少している。投資的経費は、地域の元氣臨時交付金による緊急経済対策により45%増加している。



町長の

『平成25年度施政方針』

1 町民の立場に立ち、町民と共に進めるまちづくり

政策立案室の設置、民間的経営感覚・手法の導入、職員の働きがいのある職場の構築、空き家情報バンクの充実

2 地域の特性を生かした地域づくり

支所機能の見直し・充実、地区プール整備、体育施設維持修繕によるスポーツ振興対策、消防緊急デジタル化、生活基盤整備など安全・安心の確保

3 産業・経済の活性化

道の駅第2期整備・活性化対策、堆肥センター施設整備支援など農業振興、次世代自動車インフラ整備事業など環境対策、総合産業フェアの開催などを行い企業誘致の推進

4 高齢者などに優しいまちづくり

地域支え合い事業、地域介護・福祉空間整備事業、元気づくりシステム推進事業など暮らしやすい環境づくり

5 若者・子育て世代に魅力的なまちづくり

若者定住住宅地造成工事、住宅建築補助制度の拡充による若者定住の促進、保育士等処遇改善補助金の創設、医療費の無料化(中学校まで平成26年4月から)

6 郷土芸能・文化財・自然などを生かした観光の戦略化

スキー場活性化補助金、いななか体験サポーター事業補助金、安芸吉川会補助金など観光振興及び地域資源の活用

新年度の主な事業

小学校統廃合による新築(継続)

14億223万円

- ・壬生小学校新築
- ・豊平小学校新築等



▲豊平小学校新築

北広島町民千代田プール整備(新規)

2億4,000万円(平成25年度分)

- ・25m 6 コース
- ・幼児用プール、ジャクジー
- ・トレーニング室(151㎡)
- ・木質ペレット、灯油併用



▲町民プール完成予想図

社会資本整備(継続)

1億9,148万円

- ・農業基盤整備
- ・林業基盤整備
- ・小規模崩壊地復旧事業
- ・町道整備



▲町道千代田七曲線

豊平旧3小学校の校舎解体工事設計(新規)

4,608万円

- ・旧豊平南・豊平西・豊平東小学校



▲旧豊平南小学校

小規模多機能型居宅介護施設の整備支援

3,540万円

旧美和小学校の校舎を活用



▲旧美和小学校

- 新庄井関住宅宅地造成(新規) 2,700万円
- 豊平地区プール建設設計委託(新規) 2,000万円
- 壬生小学校グラウンド夜間照明(新規) 1,750万円



▲新庄井関宅地造成予定地

予算審査特別委員会の主な質疑

一般会計補正予算

問 町債の限度額増の3億円の内訳は

答 主として過疎ソフト債1億円(基金積立)、過疎債1億2000万円(温水プール)、合併特例債5300万円

問 電気自動車充電器を町内3カ所に設置するが、料金と今後は

答 当分の間は無料、今後は利用状況を見ながら考える

問 緊急経済対策としての予算執行状況と改善策は

答 3月補正2億8000万円の17%、2月骨格予算9600万円の7%。促進するため担当課と協議し体制を整備する

問 商工会への補助が昨年と比べ300万円減額されているが

答 従業員のスキルアップ・人材育成事業の減のため。今後商工会と検討する

問 子ども農山村体験事業の受入先は整っているか

答 1000人超だが整っている。しかし7月から11月と長いので調整もある

問 道の駅・舞口道の今の雇用者はどうなるか

答 新しい指定管理者に雇用してもらおう

問 道の駅の指定管理者の決定は

答 7月に選定し決定する

問 8月中の産直、10月中のレストランのオープンはできるのか

答 舞台や厨房施設整備が7月に確定次第、最終的なオープン時期が決まる

問 千代田温水プールの入札日、アンケート時期、ご意見箱の設置は

答 入札日は未定、アンケートは7月実施で調整し、返信用はがきの活用は検討する。ご意見箱設置は考えている

問 消防デジタル化の総費用は

答 8億円

問 廃校の小学校解体工事の設計費が高いのでは

答 国交省の基準から試算しているが検討の余地はある

問 過疎ソフト債は基金でなく集落支援員などに活用を

答 今後進めていかねばと認識するが、今年度はモデル的に取り組み検討する

意見書提出(議員提案)

公的年金2.5%の引き下げに反対する意見書

厚生労働省は、「特例水準」を解消するとして、3年間で2.5%の年金引き下げを行おうとしている。しかし、高齢者を取り巻く状況は当時と比較しても、ますます厳しさを増している。年金受給者の生活を守る立場からも、地域経済を活性化する立場からも、公的年金の2.5%削減を行わないことを強く求める。

【提出先】 内閣総理大臣 厚生労働大臣

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 地方財政計画、地方交付税総額の決定に当たっては、国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定すること。
2. 増大する地域の財政需要に見合う地方財政計画、地方交付税総額の拡大を図ること。
3. 被災自治体の深刻な人材確保に対応するため、震災復興特別交付税を確保すること。
4. 地域の防災・減災に係る必要な財源は通常の予算とは別枠で確保し、地方交付税などの一般財源と地方債などの特定財源の振替は厳に慎むこと。
5. 地方公務員給与費の臨時給与削減により減額した給与関係経費等に係る財源については完全に復元すること。

【提出先】 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣

財務大臣 内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)
経済産業大臣

提出議案の審査結果

平成25年6月定例議会

○賛成 ●反対

議案名	議員名	濱田	中田	久茂谷	藤堂	梅尾	森脇	柿原	室坂	中村	伊藤	真倉	藤井	蔵升	田村	美濃	大林	宮本	審査結果
町職員の定数を削減する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	●	○	○	可決
道の駅舞ロードIC千代田の販売手数料、緑の広場の使用料を改正する条例		○	●	○	●	○	○	○	○	欠	欠	●	○	○	○	○	○	○	可決 可決
一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	●	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	●	●	可決
特別職の職員等の給与削減する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の給与削減する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
豊平病院事業管理者の給与削減する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会の議員報酬を削減する条例（議員発議）		●	●	●	●	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	否決

※議長は採決に加わりません

全員一致で
可決した
議案

- ・ 税条例の改正
- ・ 国民健康保険税条例の改正
- ・ 分担金等の督促手数料及び延滞金徴収条例の改正
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正
- ・ 水槽付消防ポンプ自動車の購入（48,825,000円）
- ・ 平成25年度 国民健康保険特別会計補正予算
- ・ 平成25年度 下水道事業特別会計補正予算

- ・ 平成25年度 農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・ 平成25年度 介護保険特別会計補正予算
- ・ 平成25年度 簡易水道事業特別会計補正予算
- ・ 平成25年度 情報基盤整備事業特別会計補正予算
- ・ 平成25年度 水道事業会計補正予算
- ・ 公的年金2.5%の引き下げに反対する意見書
- ・ 地方財政の充実・強化を求める意見書

請願・陳情等の審議・採択

件名	請願陳情者名	審査結果
陳情第3号 違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書	NPO法人日本法輪大法学部 関西地区担当 井田敏美	継続審査
陳情第4号 年金2.5%の削減中止を求める請願（陳情）	全日本年金者組合広島県本部 委員長 高橋信雄	採 択
要望第1号 要請書（地方財政の充実・強化を求める意見書）	自治労広島県本部 中央執行委員長 戸守学	採 択

反対討論

賛成討論

職員定数条例の一部を改正する条例

反対討論

美濃 孝二

合併時から福祉や介護、保健職員を半分、支所職員は6割に減らし結局、住民に最も身近でサービスを行う職員を大きく減らしている。職員配置は効率的であるべきこととはいうまでもないが「住民の福祉の増進」という自治体本来の目的達成を主眼に置くべきである。

道の駅舞ロードIC千代田設置及び管理条例の一部を改正する条例

反対討論

美濃 孝二

出荷者は新しい道の駅の見通しが持てず不安に思っている。産直・物産の販売手数料15%を、15%〜20%に引き上げること急ぐのではなく、今後の道の駅を見定めてから検討すべき。

賛成討論

大林 正行

手数料15%では指定管理者が赤字を負担することになり、結果として町が赤字分を指定管理料として支払わざるをえなくなる。町が負担しないためには手数料を15%以上に設定せざるをえない。

反対討論

中田 節雄

産直・物販の手数を値上げすることは、出荷者の減少、そして生産意欲の減退を招き、結果として集落内農地の荒廃地の拡大につながる。この道の駅の考え方は小規模農家の育成、ひいては農業の振興・産業の振興を基本理念としているため。

平成25年度一般会計補正予算（第1号）

反対討論

美濃 孝二

千代田温水プール建設は十分な説明もなく理解は得られていない。「毎年2000万円以上も赤字」「一部の人が利用できない」「千代田ばかり良くなるのは不公平」「町民の意見を聞くことが町長の公約」との意見がある。町長は、入札を延期し約束した「利用のためのアンケート」で町民の意見を聞き判断すべきである。

職員の給与（削減）の特例に関する条例

反対討論

梅尾 泰文

国は国家公務員の賃金を7.8%カットし、その犠牲者相当分を各自治体の地方交付税削減という形で押し付け、その額を地方公務員の賃金カットで補えと要請してきた。このことは地方自治の本旨を踏みにじるもので国が介

入すべきことではない。

議員報酬（削減）の特例に関する条例

反対討論

久茂谷 美保之

提案者自身、北広島町議員の報酬が高いとは思っていない。また将来若い人たちが議員として活躍できるように報酬を上げるよう努力する必要がある。県内9町でも報酬の低い方から4番目で報酬が高いとは思えない。

賛成討論

大林 正行

職員の給与削減に賛成し、議員自らの報酬削減には反対して痛みを分かち合わないようでは、行政運営の両輪である議会としてその責務を果たしているとはいえない。

反対討論

蔵升 芳信

政府が推し進めた地方公務員の臨時給与削減にかかわる地方交付税減額は、地方財政制度の根幹を揺るがすものであり容認できないと、議会全会一致で国に意見書の提出を決めた。この発議はこれに反する内容である。発議第8号を全会一致で承認し、国に意見書提出を決めた。発議第9号はこれに反する内容であり反対する。尚、条例71号から73号の給与の特例に関する議案にも同様の主旨で反対した。

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分。質問回数は制限なし。		
ページ	質問議員	質問項目
		14 真倉和之 町長選挙公約である地域の特性を生かした地域づくりについて 町長の所信表明について問う
7	久茂谷美保之	15 浜田芳晴 担い手対策(農業～各種産業～全体)
8	美濃孝二	16 田村忠紘 施政方針について質す 「吉川本陣」について援助を
9	宮本裕之	17 大林正行 支所機能の充実について 新町建設計画と社会資本整備について
10	藤井勝丸	18 中田節雄 道の駅第2期整備事業の見直しについて問う 合併時に策定した新町建設計画について 議会一般質問の再放送を1日2回に
11	柿原徳則	19 梅尾泰文 国の方針通り町職員の給与を削減するのか 活力のある庁舎を築き町民をリードすべきでは 三二地域懇談会の開催について
12	藤堂修壯	20 室坂光治 地域に活力を 道の駅豊平どんぐり村について 県道千代田七曲線(本郷地区)
13	蔵升芳信	21 森脇誠悟 町政運営見直し案件を問う 組織体制について

▶ 旧八幡小学校



問 今年度から壬生小学校・豊平小学校・芸北小学校が、それぞれ新たにスタートをした。跡地利用について問う。



久茂谷美保之

問

小学校統合後の跡地利用を問う

答

地域の要望に応える

答 町長

南方小学校は、今後地域の皆様と協議、豊平西・南・東小学校は、校舎、体育館を解体する方向、しかし地元の要望で「コミュニティの施設整備」との声もあり検討中である。校庭は、現状のまま残す。雄鹿原小学校・雲月小学校は、企業・団体の活用となるように進めて行く。八幡小学校は企業へ、美和小学校は福祉団体へ各々売却する。学校の管理については、シルバー人材センターをお願いし、草刈りを

▶ 旧雄鹿原小学校



行う。夏休みのプール活用については、それぞれの学校と競技をし、バス運行により、児童の送迎を考えている。

6月定例議会
一般質問

15議員が町政を問う

どうする？
私たちの町づくり



美濃 孝二

問

千代田温水プール 町民の意見を聞け

答

今後はそうしたいが今回は理解を求める

問

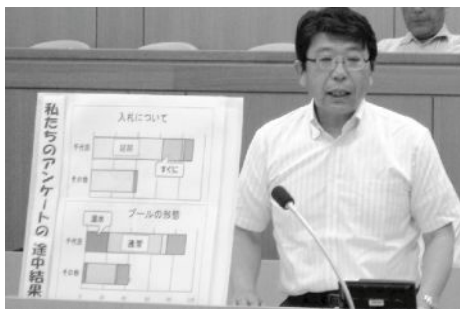
12月議会は設計・造成予算の凍結を解除したが計画全体の議決は行っていない。町民に納得を得たと思うか。

答 町長

充分な理解は頂いていない。今後周知する



▶川本町の複合施設「おとき館」内にある温水プール



▲パネルを示し質問する美濃議員

問

2万人利用の根拠は。

答 生涯学習課長

安芸高田市の温水プール利用者が人口の103%、これを当てはめた。川本町は280%。

問

川本町は複合施設の利用者で根拠

にならないし県内一医療費が高い。芸北の人はどうやって利用するのか。

答 生涯学習課長

バス運行は未定。利用者がいないのにバスは走らせない。

問

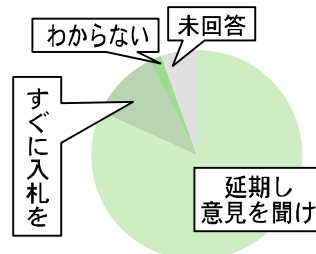
全く逆立ちの考え。議会が再検討すべきとした課題は解決していない。7・8月に納得をえる説明ができるか。

答 町長

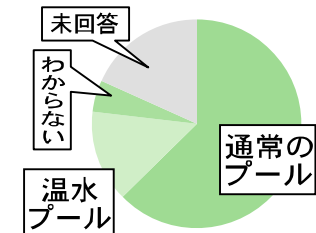
12月議会で承認されており、建設しなければならぬ

私たちがとりくんだアンケートの結果 (回答数: 203)

入札は？



形態は？



問

他自治体は住民と慎重に検討し「赤字の温水プールは理解を得られない」と断念。北広島町も2年後から地方交付税が段階的に14億円減り極めて困難になる。それでも建設するのか。

答 町長

しっかりと利用しても

らえればマイナスは小さくなる

問

「町民の声を聞く」が公約であり、説明だけでなく意見を聞くべき。

答 町長

今後はそうしていきたい。

自治基本条例を制定する考えは

答 町長

制定にむけ時間をかけて議論し、過程はオ

ープンにする。来年度から議論する。

どうする？
私たちの
町づくり



宮本 裕之

問

合併後、支所周
辺は寂しくなり所
内の活気も薄れてきた
と言われる。町長は支
所機能を充実するため
にどのように取り組ん
でいくのか。

答

町長

限られた職員の中で、
個々のスキルアップを
図ると共に本庁との連
絡のあり方を検討して
いく。支所長権限を拡
大し、地域協議会との
連携も図りつつ、支所
の立案機能を充実する
よう努力する。

問

本庁に集中して
いる課を支所に移
転し、特徴を活かした

問

支所機能充実の施策を問う

答

支所権限の拡大と
職員のスキルアップを図る

支所作りの考えはないか。

答

町長

メリット、デメリッ
トがあり、現在、その
考えはない。

問

課長会議を支所
持ち回りにして、

答

町長

地域の課題や問題点を
実際に調査したり住民
との意見交換の場にし
てはどうか。
意義のあることでも
あり、検討していく。



▲北広島町役場芸北支所

新町建設計画と 社会資本整備にどう取り組むのか

問

新町計画は合併
前の旧4町民の願
いが入った計画である。
未執行の事業を今後ど
う推進するのか、また
本町の社会資本整備の
考えを問う。

答

町長

旧町間の未執行事業



▲新町建設計画パンフレット

を推進していく。社会
資本整備はインフラの
高齢化もあり、地域の
安心と安全を守るため、
国の社会整備交付金を
有効に使用し、道路・
橋梁・水道・住居環境
を整備していく。併せて、
公共事業の安定的な発
注を図る。



藤井 勝丸

問

国の方針通り
町職員の給与を削減するのか

答

住民サービスへの影響を避けるため
止むなく削減する

問

地方は、町村合併をはじめ職員の人員、給与の削減など行財政改革に努めてきたが、国は更に地方公務員給与の削減を要請し、削減分の地方交付税を減らしている。地方分権の理念に反するやり方であるが、本町はどう対応するのか。

答

副町長

国家公務員の給与を平成24年・25年の2年で7・8%削減。国は、地方公務員の給与カットを前提に地方交付税を減額し、一方で人件費削減の努力などに「地

問

域元気づくり推進費」を創設した。理不尽なやり方であるが、住民サービスへの影響を避けるため職員の協力を得て人件費を削減する。

答

町長など特別職10%、一般職平均で4・15%の削減（7月から9カ月間約5800万円の削減）。

問

減額及び「地域元気づくり推進費」の用途は。

答

副町長

町職員の給与削減分に相当する額が「地域元気づくり推進費」として普通交付税措置される。防災・減災事業、

問

議員・特別職の「報酬等審議会」等の設置の考えは。

答

副町長

合併協で確認されたままであるが、今後必要であれば検討する。

北広島町役場庁舎 ▼





柿原 徳則

問

現在、旧4町において2回／年の行政報告会を実施されている。一般町民の方はほとんど参加されていない。ミニ地区懇談会を実施することに対してどう思うか。

答 町長

地域懇談会は、旧町4地域で毎年行ってきましたが、意見・要望などを取りまとめ町政に反映させることを目的で実施してきました。一般的な取り組みとしてこういった取り組みも並行してやっていく必要がある。そういった懇談会も残しながら、ミニ懇談会の位置づけ

問

ミニ地区懇談会の開催について問う

答

出前説明会など
小さい懇談会を実施する

ではないかもしれないが、個別に出前説明会・出前講座という形で小さい単位で懇談会的なものを進めていきたい。そういった形で皆さんからの意見も聞かせてもらいたい。

民間の手法の導入を

問

民間企業のやり方・手法・導入について私は民間のやり方の長所をつまみ食いをしてでも取り入れていく必要があると思う。実施できることはすぐ実施する考えは。

答 町長

出来ることから、つまみ食いでも取り入れるべきということだが、そういうつもりでいる。ただ予算処置が難しいものについては難しいものも有り、お金がかからないものについてはできるだけ早期に実施していきたい。



▶ミニ懇談会



▶町政懇談会



藤堂 修壮

問 少子高齢化で厳しい地域実態を町長はどう受け止めているのか。

答 町長

少子高齢化が進み集落維持のできない地域もある。今年度は地域支えあい事業をモデル的に行う。芸北地域5箇所を設定し、地域集落の問題点を洗い出し、地域の活性化を図る。

問 小規模農家の育成と産直市の活用は。

答 町長

小規模農家の生産意欲向上と所得向上に向け、生産セミナーや研修会

問 地域に活力を

答 地域集落の問題点を洗い出し、活性化を図る

を開き、出荷業務や出張販売を町の施策として行う。



▶にぎわう産直

問 道の駅舞ロードIC千代田第2期整備事業は、農業振興に大きな期待がある。華美な整備をしないよ

う見直しを求める会が署名を集めたが、関係者に現況を説明したのか。

答 町長

きたひろネットや広報を利用して報告し、説明に代えている。皆さんには、ある程度は理解して頂いたと考える。いつまでも見直し論を議論しても前に進まない。皆さんに協力を求め、道の駅を成功裏に進め、農家の期待に応えたい。

問 集落維持が厳しい地域が増加している。集落点検と対策のスケジュールは。

答 企画課長

今年度においては、手法や内容を検討し、フォーマットを作る。調査方法は、地域支えあい事業や空き家掘り起こし事業と連携し、来年度本格的な集落調査を実施する。



▲工事が進む道の駅舞ロードIC千代田



▲空き家になった民家



蔵升 芳信

問 道の駅整備事業費削減総額2000万円のうち一般財源の削減額は。

答 産業課長
853万円減額。

問 音響設備費として年間10万円の削減になるが、利用には実質年間100万円以上の町民あるいは指定管理者に負担が出る。

答 町長
負担部分については今後町負担を含め指定管理者と協議する。

問 施設開設の遅れ、手数料の見直し等

問 町政運営見直し案件を問う

答 行財政改革は継続、見直し本格化は来年度から

産直出荷者への周知は。

答 産業課長
説明を行い了解を得ている。

問 支所に予算と権限を付与し充実強化を図るとあるが、構想的にはどの程度か。



▶大朝支所

答 町長
人員は増やさない、予算規模等については今後検討する。

問 地域振興資金として地域振興会へ予算配分をし、支所単位の活性化を図るべきでは。

答 町長
地域振興会を活かすことは検討する。

問 高校生まで医療費無料化と言われているが、これに伴う一般財源はいくらか、また財源はどこから捻出されるのか。



▲道の駅舞ロードIC千代田完成予定図

答 町長
4300万円、予算編成段階でやりくりし捻出する。

問 国保会計厳しい中、高校生までの無料化が必要か。

答 町長
当面中学生までとし、高校生は今後様子を見

て検討する。

問 政策立案室を設置するとあるが、事務分掌上判別のつかない企画課との調整はどう図るのか。

答 企画課長
現在企画課との住み分けを検討している。



真倉 和之

問

地域協議会の向上にどう取り組むのか

答

町民と行政によるまちづくりを進める

問

平成の大合併の効果は地域の将来を行政と住民がともに考え地域の発展に結びつける事である。町民参加を行政運営の基本に据え町の政策過程から住民の意見が反映され行政と町民が協働して住民福祉の向上。住みよい町の実現に寄与



▶北広島町役場庁舎

することを目的に設置されたのが地域協働である。現状は尻すぼみの状態にあるが町、地域支所が元気になるのも地域協議会の活動にあると考える。地域協議会活動支援交付金を3倍にしボランティアでの地域協議会の運営は進歩も発展もない。地域協議会に元気が出れば住民自治が確立し地域の意見も吸い上がり行政と車の両輪で展望の持てる町づくりにつながるかと考える。

答 町長

地域協議会は住民自治の確立と地域住民と行政が責任と役割にお

いて協働した町づくりに取り組む事が不可欠である。地域資源の発掘これを活用した地域づくり計画の策定、地域の発展に向けた取り組みと地域課題など住民の意見を集約してまちづくりに関する事項を町に提言し成果をあげて来た。今後は地域情報の共有、行政情報の提供を図り活動の充実と自治意識の向上を図っていくと同時に地域協議会への支援交付金についても検討していく。

八重西地区とんと祭り





浜田 芳晴

問 昭和59年農業委員
長になり地区の

圃場整備を仕掛け総会
で皆元気な時代に区画
を大きくしておけば将
来は誰かがやってくれ
ると言った。私が75歳
までに担い手が育たな
いと茅が立ち残念会に
なるのではと言った。
以後自問自答し、担い
手対策一筋に考えたが、
新町長の考えは。

答 町長

新規就農者、認定農家
企業、集落営農は国の人
農地プランで対応しJ
Aや関係機関とタイア
ップして対策を考える。
若者の定着は元気作り
事業で考える。

問 担い手対策（農業・産業・全体）は

答 調査方法を考え調査する

問 地域は周辺部か
ら限界集落になる

との声がある。働く所
がなく、親の代、私達
の代と二世代にかけて
子どもは都会へ流出し、
定着した若者も親とは
住まない時代となった。
鬼瓦の家には高齢者の
みが住んでいる。若者
定住対策を伺う。

答 企画課長

定住対策や空家対策
などで町外からの定住
者に補助金などを出し、
一定の効果はあったが
人口減の歯止めにはな
っていない。本年度か
ら若者が住宅を整備す
れば補助金を出す制度
を考えている。

問 周辺部には住宅
がなく市の周辺に

住宅をかまえば北広島町
で働く若者も多くいる。
なぜそうなのか調査を
し対策をたてる必要が
あると思う。

答 町長

調査方法を考え中
身のある調査をする。

若者定住促進住宅「志路原団地」▼





田村 忠紘

問

町長の選挙公約の中に「高校生までの医療費無料化の実現」がある。少子化の著しい現在、子どもたちを手厚く守ることは賛成である。中学生までの無料化と高校生までの無料化で、それぞれの財政負担は。

答

町民課長

まず中学生までを無料化し、段階的に高校生まで無料化の実現に努力する。財政負担は年間で、中学生までが約3100万円、高校生まででは約4300万円である。

問

高校生までの医療費無料の実現は

答

まず中学生までの無料化から



▶中学生の水泳授業

吉川本陣に援助を

問

「戦国の庭歴史館」入り口の一角で、創業以来、地味ながらも「そば処」として営業を続けてきた「吉川本陣」が、継続のピンチを迎えている。その

答

豊平支所長

原因は2つある。経済的な面と人的な面である。経済的には、今まで工夫しながら、ぎりぎりの経営をしてきたが、かさむ経費で厳しい。委託料の予算化を強く望む。人的な面は、ソバ打ち職人の募集を行っているが、見つからない。行政も求人応援を。

委託料は、過去の経営状況を検証し、分析の上、検討する。人的

には、町の求人情報センターを活用し、ソバ打ち保存会にも呼びかけて協力していく。



▶お休み処吉川本陣



▲本地小学校の二宮金次郎像



大林 正行

問 基礎自治体として自己完結機能を備えるためには、人材育成計画を作成し、職員の資質の向上を図る必要があると考え質問する。

各種研修の実施状況と成果は。

問 役場職員の人づくりを問う

答 理想的な行政マンをめざし職員研修計画を策定する

答 総務課長

町独自の業務研修・公務員基礎研修と自治総合研修センターで昇任時に実施する過程研修を必修としており知識の向上が図られつつある。

問 事業に精通したスペシャリストの育成方法と人事異動の周期は。

答 総務課長

県へ派遣し技術を身に付ける方法でスペシャリストを育成している。人事異動は5年周期であるが採用間もない職員は3年である。

問 1階の総合案内は民間の能動的なサービスに比べ受け身のサービスと思うがどのように感じているか。

答 町民課長

サービス面から一歩前進したと思う。

問 勤務評定を期末手当などの処遇面や人事異動に活用する考えは。

答 総務課長

給与等への反映は今のところ考えていない。今後は町長と相談していく。

問 新しい事業に、町内の専門家の知

身分保障などに問題があるので研究していく。短期のものは今後考えていく。

答 町長
スキルや知識や技術を発揮できる仕組みを作っていく。

恵を取り入れる考えは。



▶ 役場本庁の総合案内



中田 節雄

問

道の駅第2期整備事業の見直しを問う

答

事業費縮減は、
分離分割発注で議決は必要ない

問

この事業については、「約200

0万円節減した」と広報している。4月の全員協議会で縮減の説明を受けたが、全員協議会は、議会前の意見交換の場であり、決定する場所ではない。この事業について、これまで先進地の視察を行い、小規模農家の育成、農業振興、産業振興、観光産直市のネットワーク等について2年間にわたって議論をしてきた。事業費の見直しについても、本会議の場で議論されるべきではなかったのか。

答

町長

全員協議会の場で事前に説明し、議員の了解を頂いたと認識している。事業費の増額は議決事項であるが、事業の分離・分割発注をしており、議会の議決事項ではない。

問

産直・物販について、収支バランスに

応じた手数料として、現在15%の手数料を20%以内にするのとされているが、出荷者の減少を招き、小規模農家の育成にならず、集落内の耕作放棄地の拡大等マイナス面が大きい。

答

産業課長

現在でも赤字であり、18%にすれば多少の赤字が見込める。町内の産直市とのバランスも必要であり、また、出荷商品が安く販売されているため、多少売価を上げていく必要がある。そうすれば出荷者の利益に大きな変化はない。すでに出荷者には説明し、了解を得ている。



道の駅舞ロードIC千代田産直市



▲本地総合センター

災害時の避難場所は町が指定した場所や、地域の地形をよく知っ

答 危機管理監

「災害は忘れたころにやってくる」常に想定しながら準備しておく必要がある。避難場所や避難誘導、食料や備蓄品は確保されているか。

問



梅尾 泰文

問

防災対策の準備は万全か

答

災害想定をしながら準備している

問

高齢者やひとり暮らし、体の不自

答 危機管理監

避難のタイミングを的確に周知するために、2010年に作った判断伝達マニュアルにより、避難指示を呼びかける。

問

山からの災害、川からの災害かを判断して対応するとうが、マニュアルやモデルはあるか。

答 福祉課長

由な人の避難補助を、誰が誰を担当するのか決めておくことは必要である。

2010年に災害時

要援護者避難支援制度を設け、誰が誰をどこに避難させるかということを目的にした制度である。現在150人くらいが登録している。

▶災害時避難所看板



▶本地小学校体育館





室坂 光治

問

道の駅豊平どんぐり村の改修は

答

基本計画をつくり改修していく

問

老朽化の著しいどんぐり荘は、策定計画によりどんぐり村運営委員会を設置しスタートしている。今後の施設整備、一階の客室の必要性などを検討した改修にすべきと考える。

答

企画課長

新町建設計画においても豊平地域のシンボリック事業という認識を持っている。今後の予算計上を前提とし、改修工事の内容や今後のどんぐり村自体の運営方法等を検討している。またどういった客層にターゲットをしぼり季節的要因も含めて部屋

の改修を行う必要がある。今後は基本構想・基本計画をつくり修繕ではなく大規模な改修も想定して検討する。



▶豊平どんぐり村 どんぐり荘

県道千代田七曲線の改良は

問

県道千代田七曲線の区間は道路幅も狭くカーブも多いので非常に危険である。大雨時には河川の水位が上がり通行規制になる事もあり、住民は大変な不便をしている状況である。現地を調査し、早急な対応をする必要がある。

答

建設課長

これまでも県に対して要望しているが、危険箇所を早急な改良を要望していく。現地確認とそれに伴う維持管

理についても委託や職員が点検をして安全に務めていきたい。



◀ 県道千代田七曲線

▶北広島町役場豊平支所



問 「元気な」地域づくりのためには、元気な支所が前提だと考えるが、支所の現状、地域特性をどう捉えているのか。また、地域の特性を生かした事業の企画・立案、実施できる「特化」した支所を考えるべきではないか。



森脇 誠悟

問

特性を生かした支所にするべきではないか

答

地域の意見を聞きながら検討する

答 町長

4 地域は、それぞれ優れた特性を持つており、「元気な」地域づくりを生かしていかなければならないと考えている。支所は、地域づくりの拠点であり、行政が指示・主導するのではなく、地域協議会等をより活用し、地域の意見を聞きながら行政を進めていきたい。また、支所で立案・実施できるようになれば、支所も元気になり、地域の期待も高まると考えている。

問

特権を持つ可能性のある町長直属の政策立案室（仮称）設置より、現在の企画

課の事務内容をスリム化し、本来あるべき企画立案を企画課の主要事務とするべきではないか。例えば、観光交流室、立地定住推進室を支所に設置したらどうか。

答 町長

現在の企画課の事務量は多く、本来の業務である企画・立案ができないこと。町長直属の室により企画・立案がし易くなり、集中できると考えている。今立ち上げているプロジェクトチームにおいて、そのことも含め検討していきたい。

▶北広島町役場豊平支所



委員会報告

文教厚生常任委員会

小学校新築現場の視察

6月14日、豊平小学校・壬生小学校
新築現場視察

豊平小学校(木造2階建、一部鉄筋
コンクリート造)は10月開校に向け
て急ピッチで工事が進められている。
大断面構造の集成材の梁は最大1.8m
で県内でも例を見ない。



▲建設中の豊平小学校

壬生小学校(木造2階建)は平成26年
4月開校予定で現在基礎工事が進め
られており、鉄筋組み、型枠が組み
まわって、コンクリート打ちの段階であつた。

予定通り工事が進めば3月14日完成
予定。同敷地内に放課後児童クラブ
の建設も予定されている。



▲建設中の壬生小学校

温泉プール視察

5月23日島根県川本町の「サウンド・

ア・ミュージアム温泉プ
ール」の視察
を行った。こ
の施設は平
成10年、建設
費約13億を
かけて建設
された総合



▲サウンド・ア・ミュージアム温泉プール

施設である。一階に温泉プール、展示
室、会議室、トレーニングルーム、2
階にレストラン、カラオケルーム、3
階にホテル(9室)の設備が整った建
物である。温水プールは指定管理に
よる一括管理であり島根スイミング
スクールが2000万円の管理料で
運営している。年間約1万人の利用
者がいるが経営は赤字である。熱源
は灯油ボイラーで年間800万円必
要。送迎はスイミングスクール所有
のマイクロバスを運行している。川
本町民の利用者は少なく、医療費は
県内トップの高さである。利用者に
若い人は少なく利用者の増加を図
ることが大きな課題である。



▲サウンド・ア・ミュージアム温泉プール外観

産業建設常任委員会

農業委員会と懇談

5月27日農業委員会20名と産業建設常任委員会が北広島町の農業問題について懇談。

有害鳥獣対策や耕作放棄地の解消、雇用確保など真剣な論議が交わされた。今後も継続して開催することとした。

6月14日町内視察研修

①今年5月にオープンした西日本リネンサプライと(株)トウカイの太陽光発電施設を視察。

②どんぐり農園視察。

ハウス栽培によるいちごやブドウ路地ではブルーベリーがところ狭しと栽培されている。現在5000人を超える観光客が訪れている。大型ハウスをもう一棟建設中。

③竹下建設㈱のバーク堆肥製造施設

の視察。

材木や木の根、草などをチップにし堆肥と混合しバーク堆肥を製造。



▶豊平地域にオープンした太陽光発電施設



▲バーク堆肥製造施設



▲豊平どんぐり農園

7月12日 臨時議会

道の駅・指定管理業者決まる



7月12日、臨時議会が開かれ、道の駅舞ロードIC千代田の指定管理業者の指定、道の駅の工事請負額の増額など4議案が提案された。

道の駅の指定管理業者に「株式会社きたひろ市場」

産直・物販施設及びレス
トラン・緑の広場を含め一
括して指定管理すること
になった。

「株式会社きたひろ市場」

・代表取締役：藪 茂樹氏
・取締役……増田恵二氏

呉川峰春氏

その他出資予定者あり
・設立年月日

平成25年6月12日

今後のスケジュール

8月10日…新築棟引き渡し
8月12日…産直・物販プレ
オープン

9月30日…工事完了

10月11日…竣工式

10月12日…グラウンドオープン

開会直後

「休憩動議」で全員協議会

議案の提案直後、休憩動議が出され賛成多数賛成9、反対5で採択、その後全員協議会で3時間、説明と質疑が行われた。本会議では「議案が前日、資料が当日配布など審議の保障がされていない。また細かい点の問題もあるため、今後、町は議会と協議しながら進めていく」との付帯決議を付け全員が議案に賛成しました。

全員協議会の

質疑・資料で明らかに

・今の駅長は、指定管理者と協議し本人の思いも聞きながら決める

・出張販売やイベント費用は町負担

・指定管理料はなし

・レストラン(バイキング方式)料金は1200円

・グラウンドゴルフ場

1コースは認定予定、も

う1コースは設定可能

・現従業員は、優先して再雇用する

・3万円を超える修繕は町が行う

・販売手数料は18% (消費税別) など

道の駅の工事請負費

1236万円増額

工事当初の地盤改良工事に伴う残土処分費、きたひろネット設備工事などの工事費として増額の議案が出された。

その他

○廃校となった美和小学校の校舎等を小規模多機能型居宅介護事業所として活用することを目的として、医療法人明和会に無償譲渡する議案

○芸北小学校「交通安全子ども自転車全国大会」派遣、芸北分校神楽部「全国高等学校総合文化祭」派遣への補助金を含む補正予算議案が全員一致で採択された。

がんばってます！

千代田地域

南方保育所

(31人)

笑顔・やる気いっぱいの子供の在園児31人です。保育理念「生涯にわたる人間形成の基礎を培う」を目指し、「保育所保育指針」を基に日々保育をしています。

今年度から南方小学校と壬生小学校が統合し、昨年度まで南方小学校と合同で実施していましたが運動会を、保育所単独で実施することにいたしました。園庭での運動会となりますが、保護者の方々と地域の皆様にご協力いただきながら、園児たちの成長発達を見ていただくとともに、関わりを楽しんでいただけるようにと計画を進めているところです。

園児たちは自然物での遊びや、自分で遊びを作りあげていくことがとても上手です。なかでも泥団子作りは根気と土選びが重要ですが、友だちと教え合いながら大きく割れにくいピカピカの泥団子を作りあげます。異年齢交

流ができる環境を生かし、様々なことを体験しながら学び成長しています。7月は地域の方との「七夕会」、保護者の方との「夏の集い」を楽しく終えました。日々の笑顔や頑張り、どの子どもも我が子のように関わってくれたさる保護者の皆様と、温かく安心して子育てができる地域の皆様のおかげです。これからも宜しくお願い致します。



▶ たなばた祭り

豊平地域

吉坂保育所

(45人)



園式、運動会、発表会、卒園式など四季折々の行事を行っています。交通安全教室では、横断歩道の渡り方の指導を受け、交通安全の紙芝居を見させていただきました。このような機会を持ちつつ、貴重な体験を生かし、交通事故に遭わないようにするにはどういった事に気を付けていかなければならないのか、園児も勉強になりました。これからも交通安全に留意しながら、健康に活動できるように保育活動を続けていきます。

吉坂保育所は、社会福祉法人吉坂福祉会が経営する保育所で、「あかるく、げんきで、がんばる」子どもが育つように昭和40年からこの阿坂地区に開設されて保育活動を行い、これまでに卒園児1161人を送り出し、今現在45人の園児が通っています。個人個人の特徴を大事にしながら、社会生活に向けての基本的な生活習慣が身に付くよう毎日楽しく生活しています。主な行事としては、入



▲交通安全教室



議会傍聴記

去る7月21日第23回参議院選挙が投票された。自公勝利、共産躍進、民主党の敗退に終わった。衆参のねじれ解消が一部で評価されているが、我々国民の側から言えばむしろねじれが必要ではなかったのか。農業生産と国民食糧の確保に壊滅的な打撃をもたらすTPP参加交渉に極めて積極的な安部自民党政権の今後に多大なる危惧を抱くのは私一人でしょうか。

本町においても去る3月、町長及び町議会の選挙が行われ、新しい町長・議員が選出された。地方自治体の財政難に加え、合併町という事情を反映し、新町政・新議会に対する関心も極めて高く、6月議会での25年度本格予算や関連する重要事業に対する活発な議論・質疑を多くの町民が望んでいた事も当然である。これに対し議会においては、これまで議会改革の一つとして取り組んでこられた議会一般質問の「一問一答方式」を導入され活発な議論・質疑を展開された事は、町民にとつて解り易くなりました。議員の各位におかれては、合併町の事情を考慮しつつ感情論を廃して、町民の暮らしや願いに立脚した真摯な議論を期待しご活躍を祈念申し上げます。

千代田地区 亀岡 章治

加計議長、 全国理事に再任

平成25年7月17日、全国町村議会議長会臨時総会が開催されました。広島県町議会議長会長の加計議長は、次の通りそれぞれ選任されました。(任期は2年)

- ・ 全国理事(再任)
(9名中、再任は2名のみ)
- ・ 制度運営に関する検討委員会委員
- ・ 道州制と町村議会に関する研究会委員
- ・ 中国地区町村議会議長会会長



▲新藤義孝総務大臣に要請書を提出する加計議長(左から2人目)

あとがき

町長と町議会議員の選挙後初めての定例会が開催された。新町長から力強い所信表明があり、議員も15人が一般質問に臨んだ。今回から質問回数3回の制限をなくした一問一答方式が試行的に導入され、きたひろネットを見た町民からも分かりやすくなったと好評のようである。分かりやすくなったぶんだけ議員に対する評価も厳しくなり色々な意見をいただいた。もっと勉強や研究を重ね、町の活性化に向けた建設的な質問と答弁のやり取りを行い、町民の期待に応えていかなければならないと実感した。

【ご意見や提案の連絡先】

050・5812・1862
(議会事務局まで)



【発行責任者】 議長 加計 雅章
【議会広報特別委員会】
委員長 宮本 裕之
委員長 美濃 孝二
委員 藤堂 修二
委員 森脇 誠悟
委員 柿原 徳則
委員 伊藤 久幸
委員 大林 正行